

重症 COVID 患者におけるリブレとミャオミャオを用いた 遠隔持続血糖モニタリングシステムの有用性及び安全性についての検討

■ 研究の対象となる方

2020年5月～2021年9月に当院で重症 COVID 肺炎の治療を受けた方

■ 目的・方法

集中治療室での治療を要する重症患者さんは、ストレス反応から高血糖となる傾向があり、インスリンを使用した厳格な血糖管理が推奨されています。重症 COVID 肺炎の患者さんの場合は、隔離した状況での治療となるため、頻回な血糖測定が困難です。そこで当院で「FreeStyle リブレ」という持続血糖モニタリングシステムを用いて、頻回な採血を減らしつつ血糖値を持続的に測定する取り組みを行い、低血糖になることなく運用ができました。FreeStyle リブレは保険承認された医療機器ですが、タイムラグや浮腫の強い患者での血糖値の乖離という点で課題が残っています。

この研究では、持続血糖モニタリングシステム導入患者さんの診療記録を調査し、採血による血糖測定との違いを比較することで、本システムの安全性と有用性を検証することを目的としています。

診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。収集した情報は個人情報情報を削除し解析・検証を行います。

■ 実施期間

2022年2月14日～2022年4月30日

■ 研究に使用する情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、採血で得られた血糖値及び持続血糖モニタリングで得られた血糖値など

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。また、本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個別にご説明することも可能です。いずれも下記へお申し出下さい。

試料や情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 集中治療室 鵜木 崇 (研究責任者) 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
------------	---